

かながわの交通

2019
8

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
～一般部門(B)～ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

危険だよ スマホに夢中の その君



三溪園

(横浜市中区)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(7月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和元年		13,293	78	15,510
平成30年		15,185	81	18,058
増減数		-1,892	-3	-2,548
増減率		-12.5%	-3.7%	-14.1%

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,199,590	4,585,773	4,613,817
免許人口	5,648,667	3,223,100	2,425,567
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は 令和元年 7月1日、免許人口は令和元年 6月末現在)

交通死亡事故（令和元年上半期）の特徴

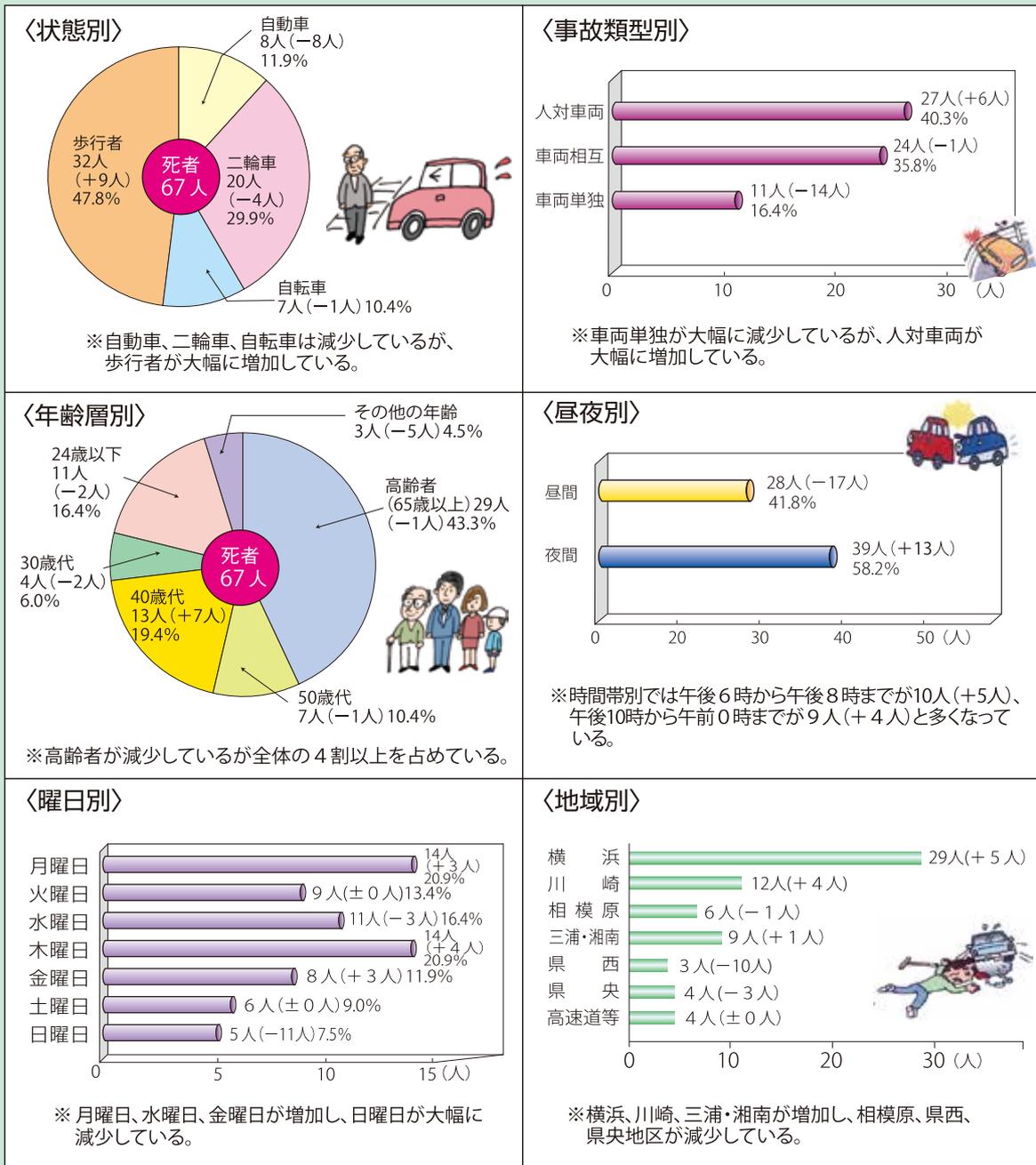
～ 交通死亡事故（死者数 67 人）の分析 ～

- 千葉県と並び全国ワースト1（前年同期比-4人）
- 歩行者の事故（32人）が大幅に増加し、全体の47.8%を占めています。
- 高齢者（65歳以上）死者（29人）が最も多く、全体の43.3%を占めています。
- 二輪車の事故（20人）が多く、全体の29.9%を占めています。

「第10次神奈川県交通安全計画（平成28年度～平成32年度）」

交通事故死者数 年間150人以下

の目標を達成するため、今後の交通死亡事故抑止対策に全力を！



注：（ ）内は前年同期比、%は全死者数に占める割合を示す。

夏の交通事故防止運動結果

交通事故発生件数・負傷者数減少

7月11日(木)から20日(土)までの10日間、神奈川県交通安全対策協議会主唱の下、県内各地区で夏の交通事故防止運動を実施しました。(巻末参照)

津久井交通安全協会では、川尻交差点で「交通事故コーン絶」のパネルを掲げてドライバーや歩行者に対して、トウモロコシ600本と啓発物品等を配布して交通事故根絶、多摩交通安全協会では、小田急線生田駅周辺で通行人等に対して、チラシ等を配布しながら交通事故防止を呼びかけるなど、それぞれ交通安全運動キャンペーンを展開しました。

期間中の交通事故発生件数、死者数、負傷者数は前年同期比でいずれも減少しました。

◇期間中の県内の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	590	2	698
前年同期比	- 20.2	- 1	- 23.0
増減率(%)	- 25.5	- 33.3	- 24.8

※亡くなられた方は歩行者が1人、自転車が1人となります。



津久井交通安全協会



多摩交通安全協会

「セーフティトレーニング」の開催

～参加・体験型安全運転実技講習会～

7月3日(水)、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車工業会、(一財)全日本交通安全協会共催、神奈川県、神奈川県警察本部、(公財)神奈川県交通安全協会、神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会等後援による、令和元年度「セーフティトレーニング」が横浜市緑区の鴨居自動車学校で開催されました。このトレーニングには、抽選により選ばれた13名(男性11名、女性2名)が参加し、開講式に引き続き、日本自動車連盟のインストラクターの指導によりトレーニングが開始されました。



今回のカリキュラムは、「運転の基本(運転姿勢・点検・死角)」や正しいハンドル操作、車両感覚などの本項目のほか、滑る路面(両面マットブレーキ)の体験走行などで構成されており、より実践的な講習内容となりました。

受講生からは、「スラローム走行や滑る路面の体験ができて良かったです」などの感想が寄せられ、閉講式では日本自動車連盟神奈川支部から受講者全員に修了証が手渡され、トレーニングが修了しました。

第50回交通安全こども自転車神奈川県大会

「やったね！4年ぶり3度目の優勝 開成町立開成小学校」

足柄交通安全協会 事務長 吉田利光

私がこの「交通安全こども自転車神奈川県大会」で声援を送るのはこれで2回目、昨年は惜しくも準優勝と言う結果でしたので、何とか今年は優勝を！と強く願っていました。

このチームは、予選会ともいべき昨年の8月23日、16チームが参加した「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」を勝ち抜き見事に優勝し、この県大会にコマを進めました。

選手たちは、ほぼ1年間のブランクを克服するために、県大会の3週間前から学科1時間、実技2時間の猛訓練を受けました。学科には自信がついたようでしたが、実技のジグザグ走行や2枚板はどうしてもうまくいかない日々が続いたようです。しかし、そこは開成町交通指導隊の熱心な指導に促され、少しずつですが上達してきました。

また、例年1チーム出場のところ、今年は足柄から2チームが出場ということで、練習の時からお互いが競争し、切磋琢磨したのが良い結果につながったようです。良いライバル関係の元、相乗効果で成長してきました。学科や実技を教えあったり、チームとして大会に臨む姿勢が良い方向に働いたと感じています。

しかしながら県大会本番では練習時のような満足な走りが出ていない様子でしたが、結果発表で「優勝」と聞いた時には一同大喜びでした。

今回の大会を終え、出場した選手は勿論、指導に当たっていただいた開成町交通指導隊の皆さんや松田警察署など多くの方々のご協力に心より感謝いたします。

選手の皆さん、次は強豪ぞろいの全国大会です。頑張ってください。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

宮前交通安全協会 中坪 悟 事務長

交通安全協会の事務長に、4月1日から就任しました中坪と申します。

今年3月31日宮前警察署を最後に42年間勤務した神奈川県警察を定年退職しました。

まだまだ分からないことばかりですが、会長をはじめ各支部の方々、優しい職員に助けられ何とか日々の仕事をこなしている新米の事務長です。

宮前区では、交通事故全体に占める高齢者・二輪車の関係する交通事故の割合が高い傾向にあります。今後は、微力ではありますが、区民の交通安全意識の高揚を図るとともに、悲惨な交通事故を1件でも減らすという共通の目標に向かって、警察、協会役員、交通指導員の皆様のご指導を受けながら、また、関係機関・団体とも連携協力して、当協会の一員として、各啓発活動の中心になれるよう交通事故防止活動に取り組んでいきたいと思ひます。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

出身地は青森県で、現在は妻と愛犬一匹と相模原市中央区で暮らしております。息子が2人おりますが、2人とも既に家庭を持って独立しています。休日には、好きなオートバイに乗って日帰りのツーリングを楽しんでいます。



令和2年使用 交通安全年間スローガン(標語)募集

締め切り 令和元年9月30日(月) 消印有効

一般部門 A

運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの
(どなたでも応募可です)

● 重点テーマ

- A-1 交通ルールの遵守と運転マナーの向上
 - ・横断歩道等における歩行者保護、運転中のスマートホン等の使用禁止、他の車への思いやりの気持ちなど
- A-2 飲酒運転の根絶
- A-3 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
- A-4 前照灯の早め点灯
 - ・夕暮れ時の前照灯の早め点灯により、自分の車の存在を周囲に知らせることなど
- A-5 高齢運転者の交通事故防止

こども部門

・中学生以下(自分たち自身)へ交通安全を呼びかけるもの(中学生以下のみ応募可です)

重点テーマは特に定めず、中学生以下の児童・生徒が自分たち自身へ交通安全を呼びかけるものとする。

一般部門 B

歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
(どなたでも応募可です)

● 重点テーマ

- B-1 交通ルールの遵守とマナーの向上
 - ・横断歩道等における交通ルールの遵守など
 - ※歩行者は、回り道でも横断歩道や交差点を横断すること、車の直前・直後や横断が禁止されている場所では横断しないことなど
 - ・自転車が交差点に入る前に一時停止や減速をすることなど
- B-2 夕暮れ時や夜間における交通事故防止
 - ・反射材用品、ライトの活用など
- B-3 自転車の安全利用
 - ・乗車用ヘルメットの着用、自転車は車道の左側を通行(歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行)など



※各部門とも、重点テーマに沿ったスローガンを作成してください(句読点はつけないこと)

■ 送り先

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係

■ お問い合わせ先

毎日企画サービス「交通安全年間スローガン」事務局
(TEL 03-6265-6815 平日午前10時～午後5時)

新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

相模原北交通安全協会 林 健太郎 事務長

皆様初めまして、平成31年3月で神奈川県警察を退職し、4月から相模原北交通安全協会の事務長として勤務することになりました林です。

私は、平成5年から相模原警察署交通課で8年間、平成21年から相模原北警察署交通課で7年間勤務し、その内5年間は交通総務係安全担当として、当協会や各関係団体の方と数多く接して頂いたなじみ深い地域です。

相模原北警察署は免許証の即日交付署ですので、当協会には一日平均して約100人前後の方が来られます。五月の連休前後、お盆、年末年始は、一日200人を超える時もあり、職員4人全員で対応し非常に忙しくなることを当協会発足から勤務され大変苦労した前事務長から聞いております。

相模原北警察署が開署し、相模原警察署当時よりは事故件数も減少していますが、依然として自転車、高齢者の交通事故も多く発生しており、5月には悲惨な死亡事故が発生しています。

今後は、管内の交通事故防止のため、警察、協会役員、交通指導員の皆様の指導を受け、関係各団体と連携し、一件でも交通事故を減らせるよう努力していきたくと思います。

今後ともよろしくお願ひします。



交通事故の悲劇に学ぶ ⑦2

●「罪の重さを知る」 無 職 (41歳)

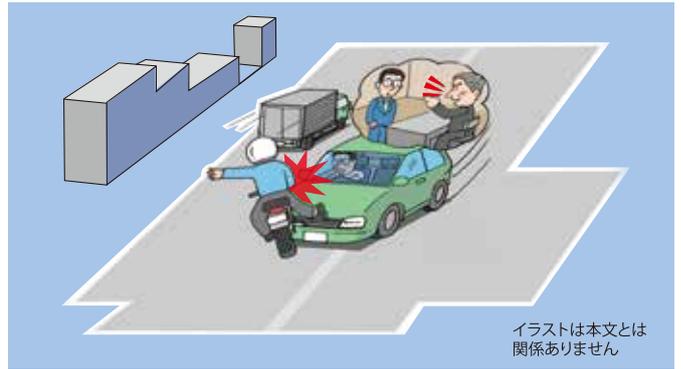
私は当時、仕事での大きなトラブルが発生し、責任者として退職を言い渡され、無職の状態にありました。自分ではきちんと受け止められていると思っていましたが、今振り返ると生活の事、この先の事で不安を抱え、普通とは言えない状態にあったように感じます。ある年の8月、私は友人と会い、その帰り道を運転していました。あと5分もしないうちに家に着く辺りまで来た交差点でのことです。私は右折しようとして対向してくる車をやり過ごしていました。その時の私は、もう少しで家に着くという安堵感と深夜で交通量が少ないことに気の緩みがあったように感じます。また仕事がなかなか決まらない事が常に頭の中にあり、運転そのものに集中しきれていなかったと今はそう感じています。

対向車の車にばかり気を取られ、「もう大丈夫だろう」と思いしっかりと前方確認をせず、車を右折させようとしてしまいました。次の瞬間、大きな音とともに車に衝撃がありました。何が起きたのか全く分らず、車を止め、車から外へ出て見た時に交差点内で横たわる男性の姿とバイクがあり、そこで初めて自分は「交通事件」を起こしてしまったのだと気付きました。急いで救急隊と警察に連絡をしました。後は無我夢中で被害者の方に声を掛け続けていたことだけ憶えています。

後日、警察の取調べの中で、被害者の方が亡くなったと聞かされましたが、その時は何も考えることが出来ませんでした。自分でしてしまったことだという思いはあるのに、どこか受け止めきれずにその事実を遠ざけようとする自分もいました。少しずつその事実を受け入れていく中で被害者、被害者ご遺族に対する謝罪、償い、ご供養の思いが大きくなり、弁護士を通じ、謝罪の手紙を書かせて頂きました。受け取っては頂けましたが、それに対してのお言葉は頂くことはできませんでした。

裁判が行われ、ご遺族の方自身が証言台に立たれ、流れる涙を必死に堪えながら私に「何故」「どうして」という疑問の投げかけと「死刑にして下さい」、「無期懲役にして下さい」という怒りと憎しみを訴えていました。一つひとつの言葉が胸に突き刺さり、自分の犯してしまった罪の残酷さ、そして命というものに対する意識や思いがいかに低く、薄っぺらいものであったのかを思い知らされました。そんな自分が発する事が出来たのは「すみません」「申し訳ありません」という言葉だけでした。

裁判の結果、禁錮1年2月の実刑判決でした。一度は控訴しましたが、日が経つにつれ、一人の方の大事な命を奪っておきながら、判決文の内容に多少の疑問を感じたからと控訴し、ご遺族のお気持ちをかき乱すようなこと



をするのは間違っているという思いが強くなり、控訴を取り下げ、判決を受け入れました。

受刑生活を送る中で自分の犯してしまった罪に対して、被害者や被害者ご遺族に対して、自身の家族や周りの方々に対して考えれば考えるほど、自分のしてしまったこと、持っていた考え、認識に後悔の念が消えることはありません。私1人が守らなければいけないルールを守り、しなければいけないことをきちんとやり、持っていなければいけない意識、気持ちを持ってハンドルを握っていたならば、誰も傷つかず、悲しまず、苦しまず、それぞれの人生を幸せに過ごせていたはずです。私が犯してしまった罪は1人の方の大事な命を奪っただけではなく、係わりのある方全員のあるはずだった幸せをも壊し消し去ってしまったのです。その方々に対し、私は何をすべきか何ができるのかを考え、日々を送っています。

事件を起こした直後から逮捕拘留され、1度も外へ出ることが叶わず、被害者のお通夜、葬儀等に参列して手を合わせることもできず、ご遺族の前に姿を表し、謝罪の言葉を伝える事すら出来ていない現状を心苦しく思うと同時にご遺族が現在どのように思い、考え、生活しているのかを知る手立てもなく、何もできていないことを本当に申し訳ないと思っています。

未だ刑務所の中では出来る事は限られてしまいますが、それでも出来ることは手を抜かずやり続け、法を犯した事に対する罪の償いである刑期を終えたら、被害者の方への謝罪とご供養。そして、ご遺族への謝罪と償いを始めさせて頂きたいと願うとともに、このような状況下であっても協力してくれた家族や周りの方々に感謝と恩返しを私のこれからの残りの人生で表し続けていきたいと思っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 京濱港運(株) ————— 横浜市神奈川区千若町
- (株)崎陽軒 ————— 横浜市西区高島
- 高梨販売(株) ————— 横浜市旭区本宿町

この人

160



大船交通安全協会
会長
高田 辰二さん
たかだ たちじ



大船交通安全協会は、昭和24年に発足し、今年で70年になります。

地域における交通安全思想の普及と交通安全の推進、そして、交通事故防止を図ることを目的として当協会は設立されました。

鎌倉市には、旧市街地を管轄する鎌倉警察署と北西部を管轄する大船警察署があり、大船警察署管内に当協会があります。

管内中心にある「JR大船駅」には、東海道線、横須賀線、根岸線、湘南モノレールが乗り入れており、駅周辺は片側一車線道路で歩道の整備も追いつかない中で、近郊住宅地から利用者が集中するため、人、車、バイクが輻輳し、お互いが注意しながら何とか流れてはいますが、不注意から起きる交通事故は後を絶ちません。

今回は、平成26年に会長に就任された高田辰二さんを紹介します。

会長は、昭和59年に理事となり、その一方で、神奈川県勤労者福祉施設協会事務局長も務めながら、言わば「二足の草鞋」で協会活動にご尽力をいただき、その後は副会長、そして5年前から会長職を務めております。

当協会としては、駅乗降客に対する啓もう活動、交差点における街頭宣伝活動を重点に多くの住民に対して、粘り強く繰り返し交通安全意識の高揚を図ることとしています。交通事故を起こすのは「人」、ならばそれに巻き込まれるのも「人」、道路交通の現場にあっては、人の「心」の一瞬の緩みが同じ人間の命を左右する悲惨な事故につながることを地域住民に訴えているところです。

今後も大船警察署と共に官民が連携し、地域の交通安全運動の中核として住民をリードしていきたいと思えます。また、地域住民全ての人が事故防止の思いを行動に移してくれるようになるまで微力を尽くしていきたいと考えております。

会長は、やがて地域住民のすべての人が「静かな心」で考えた事故防止の思いを、必ずや行動に移してくれるようになるまで、粘り強く大船警察署や関係団体と協力しながら、地域の特性にあった活動を辛抱強く進め、悲惨な交通事故を1件でも減らしていきたいと抱負を語っています。

取材協力：大船交通安全協会

こんにちは
「宮前交通安全協会」です

宮前交通安全協会は、昭和61年4月に発足し、35周年を迎えました。

山根会長のもと、県協会・市協会や警察署、関係機関・団体のご指導ご協力を頂きながら安協役員・各支部員・交通指導員・職員一丸となって交通事故を1件でも減らすという共通の目標に向かって各啓発活動に取り組んでおります。

宮前区は南北に延びる国道246号、東西に延びる市道尻手黒川線、東名川崎インターがあり昼夜問わず交通量が多く、権六坂・富士見坂・さくら坂等名前がある坂だけでも30か所以上存在し、起伏に富んだ土地柄です。

昨年、交通死亡事故が4件発生し、その中で高齢者、二輪車関係の事故が3件発生しています、今後は、高齢者・二輪車の関係する交通事故防止対策を一層強化する必要がありますので、

各季の交通安全運動、二輪車交通事故防止強化期間や「バイクの日」等で二輪車街頭指導・点検はもとより、高齢者への交通安全教育の充実を警察署、関係機関・団体等と連携を密にし、交通事故防止活動を地道に続けていきたいと思えます。

山根会長は区交対協の副会長でもあり、各季の交通安全運動、強化期間の活動等は会長を中心に当協会企画委員会で立案し、区交対協の協力を得て安協役員・各支部員・交通指導員・推進委員・母の会・自治会の動員を求めて活動しています。

毎年秋に開催される「宮前区民祭」では長年、区内在住在勤のJA女性職員5人に「一日女性警察官」を委嘱し、来場者に啓発物を配布し交通安全を呼びかけ、交通安全意識の高揚に一役買っていただき、なかなかの人気者となっています。また、当協会会長が水戸黄門に扮して水戸黄門ご一行に



よる「交通安全宮前関所」での交通安全活動は、安協役員の熱意と努力によって長く続けられ、秋の全国交通安全運動の恒例行事として定着し、交通事故防止に貢献しているものと確信しています。

当協会事務所に毎日多くの皆様が免許更新手続き等で訪れます。月毎の活動写真をパネルにして事務所内に掲示し、当協会の活動をアピールし「交通安全」をより一層呼びかけていきたいと思えますので、今後ともご指導をよろしくお願い致します。

(中坪 記)

地区交通安全協会の活動紹介



磯子 警察署前での交通安全七夕まつり



南 横浜橋商店街前での交通事故防止キャンペーン



中原 警察署前での交通安全七夕まつり



相模原南 相模大野駅前での交通事故防止キャンペーン



秦野 堀川入口交差点での交通事故防止キャンペーン



麻生 新百合ヶ丘駅前での交通事故防止キャンペーン



津久井 警察署前での交通安全七夕まつり



厚木警察管内 田代地区河川敷でのハンドルキーパー運動



川崎臨港 大師地区での交通事故防止キャンペーン



相模原北 橋本地区区での子供自転車教室

夏の交通事故防止運動

インフォメーション

- グッドライダーミーティング 9月 7日(土) 運転免許センター
- 二輪車安全運転講習会 9月 14日(土) 運転免許センター
- 地区交通安全協会会長会議 9月 19日(木) 県安協会館
- 秋の全国交通安全運動 9月21日(土)~30日(月) までの10日間各地
- 交通事故死ゼロを目指す日 9月 30日(月) 各地